

兵庫医科大学病院

看護部



看護部長 挨拶



看護部長 山田 明美

ます。

さらに、チーム医療の実践を通し、患者さんに最善の治療・ケアの提供を実現しています。特に、24時間患者さんに一番近くで、一番長く接する立場にある看護師は、一人ひとりの患者さんに寄り添い、それぞれの専門職がその専門性を的確に発揮できるように多職種間の連絡・調整を行っています。さらに、当院で活躍する医療チームには、専門的知識と技術を持った看護師を配属し、患者さんやご家族に的確な看護介入を行っています。病院施設に留まらず、在宅療養における支援や地域医療施設との連携強化にも取り組んでおります。当院には専門性の高い多くの看護師が所属しております。その活動を知って頂き、是非活用して頂き、地域医療の質向上に貢献したいと考えています。

看護部日常業務

看護師は「厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者若しくはよく婦に對する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者をいう」と法律で定められています。

兵庫医科大学病院の看護師は、主として病棟部門、中央部門、外来部門に配属されています。病棟部門は交替勤務、外来・中央部門は当直体制で、24時間365日患者さんのニーズに対応しています。看護師が日常行っている「療養上の世話」と「診療の補助」について紹介します。

「療養上の世話」とは、患者さんの生活行動を援助することです。患者さんが健康上の問題や治療上の必要性や環境の変化などを理由に、身体を清潔に保つ、食事をする、用便をする、余暇を過ごすなど、日



看護研修

看護部の教育研修は、当院看護部が育てたい「SWEETな看護を実践できる看護師」の育成を目的に、看護部教育研修委員会が中心となり、計画・実施・評価しています。特にEvidence Based Practice (根拠ある実践)、Ethics (倫理的感性)、Technique (確かな技術)の能力向上に向けて継続教育を行っています。

研修では、「がん看護」、「スキンケア」、「看護倫理」をはじめ、安全な医療の提供に必要となる「感染管理」、「セイフティマ

常生活の中で自立して行えていたことができなかった部分の支援をします。また、後遺障害が残



る場合や生活習慣病の患者さんやご家族には、生活指導をします。外来では、生涯に亘って治療が必要な患者さんに、普段どおりに社会生活や家庭生活を送りながら治療が続けられるよう在宅酸素の扱い方や自己注射の技術指導などの在宅療養指導をします。

「診療の補助」とは、医師の指示のもとに看護師が医療技術を提供することです。採血や注射、治療や検査、手術の前処置や術後の管理などの高度先進医療を、正確かつ適切な技術を駆使して行います。外来においては、国の施策である在院日数短縮により、在宅で継続した医療処置が必要であったり、通院で生体侵襲が大きい検査や治療が行われたりするようになりました。この状況に対応するため、外来における療養指導や看護外来による専門的な

相談や指導の充実を図っています。救命センターや集中治療の場では、綿密な観察による異常の早期発見と合併症予防を最優先とし、一刻も早く重症状態から回復できるように努めます。外科領域では、手術前は心身の準備を支援し最良の状態です手術が受けられるよう、手術後は合併症の発生や苦痛を最小限に止められるように看護します。内科領域では、診断確定のための検査や急性疾患の症状緩和、慢性疾患の生活指導をします。小児領域では、治療や入院生活とともに成長・発達に目を向けた看護をします。周産期領域では、母子ともに安全なお産や子育てができるように指導や支援をします。

このように看護師は、日常、患者さんの最も近くにいる医療従事者として、医師や医療技術を提供するメディカルスタッフと協働して、患者さんやご家族の療養生活を支えるチームの要として活躍しています。



果を實踐で活かすべく、各部署でも積極的に教育に取り組んでいます。

看護部は専門職として生涯にわたって成長していくことが必要です。教育研修は、看護師の能力に合わせてプログラムを組み、この成長を支援しています。「兵庫医科大学病院看護部 現任教員システム概念図」は、看護師に欠かせない「手」をモチーフとし、患者さんへ最高の看護を提示できる看護師の成長を組織全体でサポートすることを示しています。



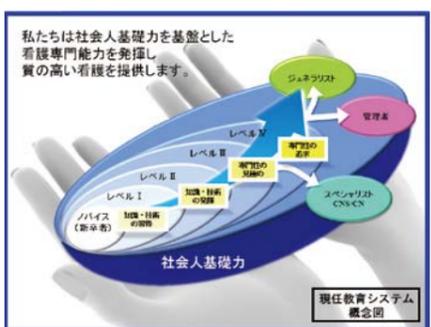
War m(あたたかい対応)に加え、Evidence(根拠のある実践)とEthics(倫理的感性)、Technique(確かな技術)が備わってこそ質の高い看護が提供できると考え、この臨床看護実践が行える看護師育成を行っている

WE SET SWEET

心地よい療養環境・ケアの提供を目指しています

SWEETとは、私たちが心に備えたいと願う5つの要素の頭文字。看護部ではこのキャッチフレーズのもと一丸となって、チーム医療を支えています。

S incerity	誠実(な行動)
W arm	あたたかい(対応)
E vidence	根拠ある(実践)
E thics	倫理(的感性)
T echnique	(確かな)技術



認定看護師

認定看護師とは公益社団法人日本看護協会が認定する特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践を行うことが出来る看護師です。現在、兵庫医科大学病院では12分野21名の認定看護師が活躍しています。今回はその中から緩和ケア認定看護師と、糖尿病看護認定看護師を紹介します。

■緩和ケア認定看護師

2008年に緩和ケア認定看護師の資格を取得し、現在はペインクリニック部緩和ケアチームの専従看護師として活動しています。

緩和ケアはがんと向き合う患者さんの身体と心の「つらさ」を和らげることで、どうすれば患者さんとご家族が自分らしく過ごすことができるか社会生活

■糖尿病看護認定看護師

私は2009年に「糖尿病看護認定看護師」の資格を取得し、内科外来で糖尿病の患者さんへのケアを中心に活動しています。主に生活指導や自己血糖測定・自己注射の指導、合併症予防のための指導・フットケアなどを行っています。糖尿病の治



糖尿病看護認定看護師 窪岡 由佑子

活を含めて、一緒に考えていくことを目指す医療です。がんと共に生きる中で、患者さん・ご家族は多くの苦痛を経験されます。痛みやだるさ、息苦しさなど身体の状態だけでなく、先が見えないことへの不安や絶望感などこの「つらさ」



療は食事療法・運動療法が基本であり、その上で薬物療法となりますが、特に食事や運動においては患者さんご自身の療養行動に委ねられます。昔は「治療に生活を合わせる」ことが当たり前でしたが生活スタイルは個々に違うものであり、現在では薬物療法も進歩し、「いかに生活に合わせた療養が行えるか」という考えに変わってきています。

糖尿病は生涯にわたり自己管理が必要な病気であり、またその時々で療養行動の変換を求められることもあります。糖尿病の合併症には代表的なものとして神経障害、網膜症、腎症などがあります。特に足の病変については神経障害や血流障害が関係しており、気づかないうちに悪化していることも珍しくありません。糖尿病をお持ちで足について心配なことなどありましたら、足病変を予防するためのフットケア外来を随時行っていますので



緩和ケア認定看護師 乾 貴絵

も多くの方が経験し、そばにいるご家族も同様につらい思いをされます。それは「がんになってみないと分からない」という言葉で表現されます。

今までの医療は「がんを治すこと」に重きが置かれていましたが、最近では「がんを治すこと」と並行して「つらさを緩和すること」が重要であると考えられるようになってきました。私たち医療者は、患者さんの「つらさ」と向き合い一緒に緩和する方法を考えたいというも思っています。患者さんやご家族の思いを私たちに聴かせて下さい。



糖尿病科へお問い合わせください。また、様々な場面で必要となる自己管理の方法を一緒に考えていけるお手伝いをしておりますので遠慮なくご相談ください。

看護師の接遇教育

病院のイメージは？と聞かれたら、少し怖い感じ、暗い、機能的等々あがってきます。私たち看護師は、このイメージが少しでも明るい、温かいイメージに変わるように患者サービスの向上に取り組んでいます。

兵庫医科大学病院では、患者さんにより良い療養環境を提供させていただくため、平成24年3月より1号館12階に特別病棟を開棟いたしました。この病棟では、安全・安心心の提供はもちろんのこと、温かさのある丁寧な対応を心掛けています。そのため、入職時に定例で行われる身だしなみや言葉遣いの



接遇研修に加え、患者さんを尊重した言葉遣いや対応を実践する

ロールプレイなど、実践的な学習方法を取り入れています。コミュニケーションを通して患者さんが温かさや心地よさを感じ、少しでも快適な入院生活が送れるように努めています。さらには、12階病棟スタッフが中心となり、高度医療の提供に「温かいおもてなし」の接遇マインドをプラスさせ、院内各部署のモデルとなり患者サービスの向上に努めていきたいと思っております。



12階 特別病棟 スタッフステーション

兵庫医科大学病院 PETセンター

先進的で高度な医療を推進する兵庫医科大学病院に、がんの早期発見や再発・転移などの診断に力を発揮するPETセンターが設立されてから7年目となりました。

PET/CT検査は最先端の放射線技術を集めた検査方法であり、がんの診療に欠かせない検査として発展しています。私たちはこれまで蓄えた豊富な知識と経験を基に、精度が高い新しい検査法・治療法の導入、検査精度の向上、サービスの向上に取り組んでいます。

特定機能病院として、地域の医療機関や先生方と連携してがん診療の一翼を担い、がんの制圧をめざして悪性腫瘍と闘うすべての人を支えていきます。



ご予約・お問い合わせ先
0120-6123-67
(フリーダイヤル)
受付時間
月～金 8:30～16:45 / 土 8:30～13:30
(第2・第4土曜日、日曜日、年末年始及び11月22日を除く)

「くすりの話」

育薬とは

薬は発売後、年齢、性別、体質など条件が異なる様々な患者さんに使われます。また、他の薬と一緒に飲むことや量を調節したりすることもあり、開発の段階(治験)では予測ができなかったこと、例えば、特定の症状を持つ患者さんに使用すると副作用が現れやすくなったり、他の病気への治療効果が発見されたり、より良い使用法が見つかったりなど、良いことや、その逆のケースもわかることがあります。薬の使用結果は、医師によってまとめられ、情報として製薬会社が収集します。その情報が蓄積されていくことで、より有効性や安全性の高い薬になっていきます。また、さらに良い薬を創るための研究、開発が行われ、新薬の開発に結びつくこともあります。このように、薬をより安全で効果があり、使いやすいものへと育てていくことを育薬といいます。

ICU

■ICU(アイ・シー・ユー)とは

Intensive Care Unit

(集中治療室)の略で、最近の報道でも時々耳にするようになってきたと思います。言葉通りとれば「集中」して「治療」する「室(へや)」



となり、重症の患者さんを収容して多くの医療スタッフが多くの医療機器や薬物を用いて患者さんが良くなるようにする場所、ということに間違いはありません。ただ、単に力を集約すれば何でも良くなるかというところではありません。「船頭多くして船山に登る」「労多くして功少なし」の諺にあるように「集中豪雨治療」では決して患者さんは良くなるたらないのです。

それでは重症患者さんを良くするのに大切な事はなんでしょう？答を先に言えば「チーム力」だと思います。「チーム力」というとスポーツを思い出しますが、集団競技をイメージしてみても下ささい。個々の選手が特に素晴らしい身体能力の選手ではなくてもチームとしては常勝集団である場合がよくあります。ICUもこれ

に似たところがあります。

■ICU学会が提唱していること

このようなチーム力をことを日本集中治療医学会では多職種・多専門的という言葉で表しています。

医師、看護師だけでなく理学療法士、臨床工学技士、薬剤師などの多くの職種のスタッフが、更に医師でも様々な分野の専



門医が集まって1人の重症患者さんの治療に専念して、より早期に快方に向かうようにするところがICUです。「重症」というのは内科、外科、救急などの領域においても考えられる状態です。したがってICUとは内科系、外科系、救急系を問わず重篤な状態の患者さんを対象として、すべての医療スタッフの力を結集して治療に当たる場所と言えます。

■病院の質の高さを表現する場所

このことを踏まえて、もし皆さんが不幸にして重症の状態になった場合や大きな手術を受けるようになった場合を想像してみてください。医療技術の進歩した昨今、ICUのある病院でも、ない病院でも一つの治療に関してはどこでも同じようなことを受けることができます。しか

しICUのある病院の方がより早く、より確かに重症状態を脱することができるであろうことは想像に難くないと思います。ICUが兵庫医科大学病院の医療の質の高さを担保できるようにとの思いで日々精進していきたいと思っています。



防災訓練

平成25年9月27日、防災訓練を実施しました。今回の訓練は電子カルテ導入と急性医療総合センターが開設後初めてのものです、12月に実施される全病院規模の防災訓練のプレ訓練として企画され、医師8名、メディカルスタッフ31名、事務12名、学生45名が参加しました。



急性医療総合センター前で、医療者役の学生が治療や搬送の優先順位を決めるトリアージを行い、判定に従ってそれぞれ指定されたエリアに模擬職員役の学生が傷病者役を運びこみました。その後病院スタッフが処置や情報の流れ、エリア設定の妥当性、新しいIT機器の動作などを確認しました。

訓練の次の週にはワーキングメンバーが集まり、講評を行いました。

人形劇

入院中の子どもたちに笑顔になってもらおうと、平成25年11月7日、第5会議室(10号館4階)でNPO法人兵庫県子ども文化振興協会主催の人形劇「ビーンズ・ドリーム まめちゃんのゆめ」の公演が行われ、1歳4か月から14歳までの小児患者さん11人と保護者が参加しました。



演じたのは「くわえ・ぱべっとステージ」のつげくわえさんと、手作りの舞台セットと可愛い人形を使っていくつもの役をコミカルに演じ、子どもたちを人形劇の世界に引き込んでいました。人形劇の後はタオルで子どもたちと一緒に人形を作り、笑顔のあふれる時間を過ごしました。

人形劇

に参加した子どもは「人形劇はとても楽しかった。特に自分で人形を作れてとてもうれしい。病棟に帰ったらすぐに飾りたい。」と目を輝かせ



ながら話していた。保護者は「人見知りのはずの自分の子供が、人形劇を見て笑っていることがとても印象的でした。」と話していました。

人形劇を演じた、つげくわえさんは「子供たちが病院内で少しでも笑顔になってもらえればと思って演じました。入院中の子どもたちは外に遊びに行くと友達と笑い出せることが難しいですが、同じ病棟の友達と一緒に見た人形劇を思い出してほらえればうれしいです。」と話していました。



処方せん受付

N I S H I P H A R M A C Y

Nishi Pharmacy

西薬局 武庫川店

＊兵庫医大病院の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

お知らせ

処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階 院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂きますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードをご用意致しております。お気軽にお申し付けくださいませ。

＊ 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

西薬局

武庫川店

TEL : 0798-43-3232
FAX : 0798-43-3233

月曜～金曜 9:00～18:00
第1・3・5土曜 9:00～14:00

休日 第2・4土曜
日曜・祝日

薬局前に P アリ



処方せん受付

兵庫医科大学病院、
全国の医療機関の
処方せんを
受付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。
皆様のご利用をお待ちしております。



武庫川店

[営業時間] 月～金 8:30～17:30 第1・3・5土曜 8:30～13:30

[定休日] 第2・4土、日、祝日

TEL.0798-44-3029 FAX.0798-44-3039



[営業時間] 月～金 8:30～17:30

[定休日] 土、日、祝日

TEL.0798-42-3080 FAX.0798-42-3081

武庫川駅前店

より良い医療サービスの提供がすべてです。

株式会社 阪神調剤薬局

<http://www.hanshin-dp.co.jp>



くるみ薬局では、「地域に密着した、
信頼と親しみのおける、かかりつけ
薬局」を目指しております。
お気軽にご相談ください。

くるみ薬局では、
すべての病院・医院の
院外処方せんを
受け付けて
おります。

住所：〒663-8124 兵庫県西宮市小松南町1-17-30
電話番号：0798-46-1155 FAX番号：0798-46-1157
営業時間：月～金曜日 9:00～18:00 / 土曜日 9:00～14:00
＊処方せん受付は8:30から行っております。
定休日：第2、第4土曜日、日曜祝日



くるみ薬局 武庫川店

<http://www.kurumi-ph.jp>



阪神電鉄武庫川駅西口を出て右手すぐにありますので、お気軽にお立ち寄りください。



わらおう。

誰もがすこやかに、笑顔でいられる毎日を。

健康のこと、お薬のことお気軽にご相談ください

アイセイ薬局 武庫川店

兵庫県西宮市池開町3-20

Tel. 0798-44-3577

Fax. 0798-41-6400

月・水・金 8:30～19:00
開局時間 火・木 8:30～17:30
土(第2,4除く) 8:30～13:00
定休日 第2,4土・日・祝



AISEI

www.aisei.co.jp

兵庫医大病院等、どちらの医療機関の処方せんでも受付いたします

兵庫医大病院、全国の病院・医院処方せん、お受けします



フロンティア薬局

武庫川駅前店

月曜日～金曜日 9:00～18:00

第1・3・5土曜日 9:00～14:00

第2・4土曜日、日曜日、祝日はお休みです。

TEL:0798-42-6702

FAX:0798-42-6703

〒663-8131 西宮市武庫川町2-19P-1ビル1階



阪神武庫川駅西側出口すぐ
駐車場スペースあり

市民健康講座のお知らせ

参加費無料・申込不要
(定員60名)

兵庫医科大学病院は特定機能病院として、より高度な医療技術と医療情報を提供するとともに、地域の基幹病院として、患者さんやそのご家族、そして地域住民の皆さんとの間に医療を通じて深い信頼関係を築き、患者サービスの向上を図ることを目的として、本講座を定期的に開催しております。
どなたでも、ご自由に参加できますので、どうぞ受講下さい。
(平成25年11月21日現在)

開催日	テーマ	講演者
12月4日(水)	関節リウマチの最新治療	内科 リウマチ・膠原病科 講師 北野 将康
12月18日(水)	こどもの感染症	小児科 助教 田中 靖彦

開催場所 兵庫医科大学 10号館3階 第3会議室

開催時間 午後3時～4時30分 【午後2時30分開場】

お問い合わせ先 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 電話番号：0798-45-6035(直通)

病院NEWSのバックナンバーは兵庫医科大学のホームページよりご覧いただけます。

<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/hospitalnews.html>

または、[学校法人兵庫医科大学 病院NEWS](#) で検索してください。